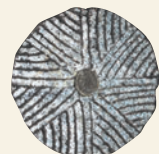




コース
7

町衆の生活 津島の世間遺産



オススメ

津島の
リピーター向け



- スタート
↓590m
- ①かくれたぬき
↓350m
- ②昔ながらの小路
↓150m
- ③上・下街道(本町筋)
↓130m
- ④成信坊
↓80m
- ⑤観光交流センター
↓140m
- ⑥道標(津島神社参宮道)
↓130m
- ⑦小之座通り(蔵の道)
蔵石垣
↓160m
- ⑧お茶屋(お茶販売店)
↓70m
- ⑨筏場車の児門
↓90m
- ⑩和菓子屋
↓80m
- ⑪今車の児門
↓60m
- ⑫大土社
↓300m
- ⑬十王堂
↓240m
- ゴール
- 全長約 2570 m

かつて天王文化塾が主催で、津島の世間遺産を公募しました。世間遺産とは「いつまでも変わらないと思っていた景色や建物がどんどんなくなっていく。こんな中で、町の中にいつまでもとどめておきたいもの、思わず人に伝えたいもの」を意味します。そんな津島の世間遺産にさらに手を加え、津島を訪れた人にさらに隠れた魅力を知ってもらうコースです。今も息づくありのままの津島の姿から、昔の津島の姿まで、想像力を膨らませて歩いてみましょう！



⑦ 蔵石垣の縁起物石組み
小之座通り沿いは蔵が多く立ち並んでいるので、近年「蔵の道」の愛称でも呼ばれています。蔵の石垣は、「打ち出の小づち」、「ひょうたん」、「扇」など縁起物に模した石がさりげなく組まれています。ぜひ見つけてください！

作成：小路めぐりマップ策定部
NORITAKA KEIKO KAORI
耕井敏子 大橋忠彦 恒川一三
岩崎勝明 橋本建夫



① かくれたぬき
昔はお酒を買うときは、徳利を持って買いました。この大きな石造りのたぬきもお酒を買いに行くのでしょうか。地図をたよりに探してみてください。



③ 上・下街道(本町筋)
本町筋は津島上街道・下街道とも呼ばれ、街道筋に古い町並みが残ります。上街道は勝幡・甚目寺を經由して名古屋へ、下街道は佐屋街道と繋がります。



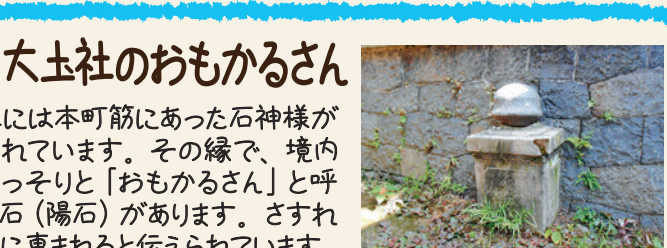
⑤ 観光交流センター
昭和4(1929)年に建てられた鉄筋コンクリート造2階建の銀行建築です。
【休館日】月曜日、月曜日が祝日の場合は翌平日



⑧ ちょっと古風なお茶屋さん
津島は昔から茶道が盛んでした。この地域は日常にお茶を飲む文化が根付いています。津島のお茶屋さん(お茶販売店)は店内でお抹茶を挽いています。
桔梗屋【定休日】月曜日



⑩ 抹茶にかかせない和菓子
津島名物の季節のお饅頭です。ぜひ食べてみてください。
津島饅頭【定休日】月曜日



⑫ 大土社のおもかるさん
大土社には本町筋にあった石神様が合祀されています。その縁で、境内裏にひっそりと「おもかるさん」と呼ばれる石(陽石)があります。さすれば子宝に恵まれると伝えられています。



② 昔ながらの小路
江戸時代中期ごろまで、この道の西側は天王川であり、この道は堤防でした。



④ 成信坊
津島で一番大きいお寺です。本堂の前には石臼が敷き詰められ、独特の風景を見せてくれます。戦国時代の長島一向一揆で、この寺の住職が本願寺教如上人の身代わりになったと伝えられています。



⑥ 道標「津島神社参宮道」
津島神社参宮道を示す石碑です。また、ここを基点に津島上街道・下街道に分岐します。神社の方向を矢印ではなく手形で示している珍しい石碑です。



⑨ 筏場車の児門
尾張津島天王祭に各車から児が出ます。「神の子」児が祭りの時に出るときに使われるのが児門です。この児門は筏場車の児が通る児門です。



⑪ 今車の児門
尾張津島天王祭に各車から児が出ます。「神の子」児が祭りの時に出るときに使われるのが児門です。この児門は今車の児が通る児門です。



⑬ 十王堂
今市場町の十王堂は、冥界の裁判官閻魔大王に代表される十王とお地藏様をお祀りしています。十王堂はまちの人によって守られています。